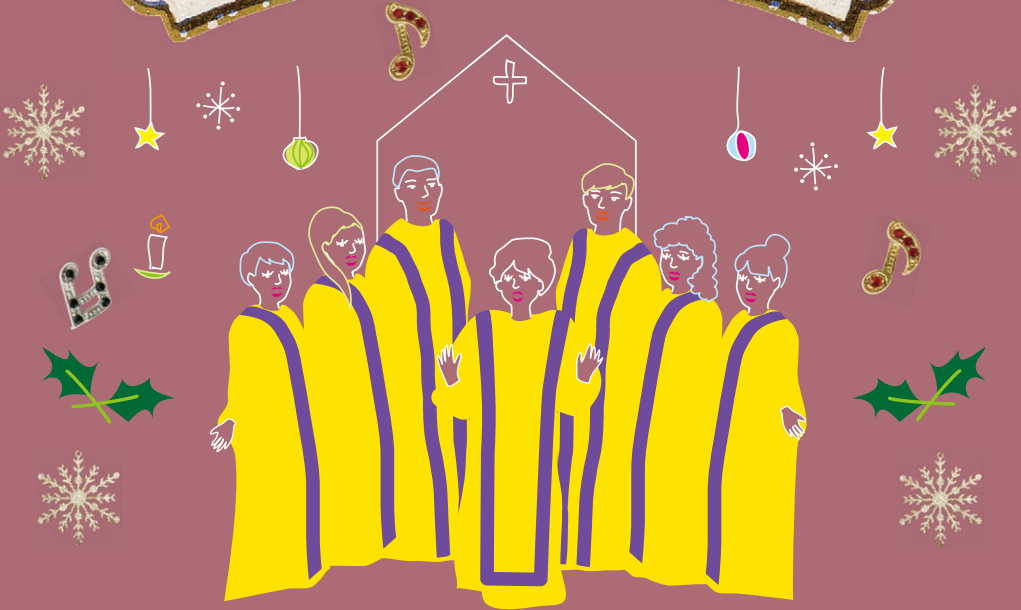


特集

クリスマスの定番！

「ゴスペル」って何？



ベートーヴェンの第九（交響曲第9番）は、いまや日本の歳末の風物詩ですが、近頃ではクリスマスが近づくに「ゴスペル」コンサートが数多く開かれるようになってきています。

でも、ゴスペルって一体何なのでしょう？ 今回は、ゴスペルの歴史と日本での広がりについてご紹介いたします。

ゴスペル、喜ばしい知らせ

ゴスペルはアメリカ合衆国発祥の音楽で、キリスト教のなかでもプロテスタント系の宗教音楽のことをいいます。現在では、アメリカの黒人教会で歌われている歌をゴスペルと呼び、一般の賛美歌とは区別しています。始まりは、17世紀アフリカ大陸から北アメリカへ連れてこられた黒人奴隷たちの過酷な労働や日々の哀しみから自然発生的に生まれてきた歌と、賛美歌などの白人の音楽とが融合し生まれたのが黒人霊歌（スピリチュアル）です。18世紀には黒人たちの間にキリスト教が広がり、より多くの黒人霊歌が生まれ、歌われるようになります。

そして、黒人霊歌と世俗音楽が融合し生まれた躍動的なリズムが特徴的な音楽、それがゴスペルです。ゴスペルとは本来は英語で福音＝喜ばしい知らせ、および福音書のことをいいます。



世界へ広がる黒人霊歌

19世紀に入ると、黒人霊歌はコンサート・ソングとして黒人以外の人々にも聴かれるようになります。1866年に創設された初の黒人大学「フィスク大学」は、財政難を解消するために学生たちによるコーラス・グループを結成し、募金コンサートを全米各地で開催します。グラント大統領に招待されホワイトハウスでも披露。欧州公演も行い、国内外に広がっていきます。



黒人霊歌集：バーバラ・ヘンドリックス
(ワーナーミュージックジャパン)
黒人ソプラノ歌手によるスピリチュアル集。牧師の娘として育った彼女にとって生活の歌そのもの。



フィスク大学の学生で構成された「フィスク・ジュビリー・シンガーズ」



聖と俗の交流、ゴスペルの誕生

南北戦争後、開放された黒人たちは新たな仕事と自由を求め、北部の工業地帯へ出て行きます。そこでピアノなどの楽器と出会い、より華やかで都会的な音楽が生まれ、1930年代に「ゴスペルの父」と呼ばれるトーマス・A・ドーシーが現れます。牧師の家に生まれ、ブルース・シンガーとしてデビューした後、ドーシーは大恐慌で苦しむ人々に救いと希望を与える歌を数多く作り、それらをゴスペルと呼びました。



Precious Lord : Songs Of Thomas A Dorsey
(Some Special Mkts.)
ゴスペルの父、トーマス・A・ドーシーの傑作16曲をゴスペル界のレジェンドたちが熱唱。アメリカ盤。



ピアノを弾くトーマス・A・ドーシー

第二次大戦後のゴスペル

ドーシーによって生まれたゴスペルは、その後マヘリア・ジャクソンなどによって引き継がれ、カルテットと呼ばれるコーラス・グループによってさらなる発展を遂げます。中でもソウル・スティラーズは、リード・ヴォーカルのサム・クックを中心に、よりポップなサウンドとなり、女性たちの熱狂的な人気を博します。1960年代に入るとアレサ・フランクリンなどのゴスペル出身の歌手たちがソウル・シーンで活躍。ゴスペル・グループのステイブル・シンガーズは、公民権運動にも積極的に参加し、ポップ/ソウル・チャート全米NO.1 ヒットを生み出します。



エッセンシャル：マヘリア・ジャクソン
(ソニーミュージック)
ゴスペルの女王、マヘリア・ジャクソンのベスト。魂を大切にしたい真実の歌声。



That's Heaven To Me: SAM COOKE
with SOUL STIRRERS (Contrast)
ゴスペル・カルテットの代表的グループの代表作。サム・クックの若き歌声が弾む。



Amazing Grace: Aretha Franklin
(Rhino/atlantic)
牧師を父親に持つソウルの女王アレサ・フランクリン伝説のライブ。



リスペクト コアセルフ・ステイブル・シンガーズ
(ユニバーサルミュージック)
タイトル曲や「アイル・ティク・ユー・ゼア」を収録した1972年の大ヒット・アルバム。

ゴスペルといえばクワイア

現代の日本人にとって、ゴスペルと聞いて最初に思い浮かべるのが「クワイア=ゴスペル合唱団」ではないでしょうか。そのスタイルは、聖歌隊が歌い、牧師が説教をしながらソロを歌う、という黒人教会のスタイルを踏襲したものです。90年代にはゴスペル界のメインとなり、日本でも映画「天使にラブソングを」(1992)で一気に人気を博し、現在に至っています。



天使にラブ・ソングを
(ウォルト・ディズニー・ジャパン)
ウービー・ゴールドバーグ主演
の大ヒット映画。



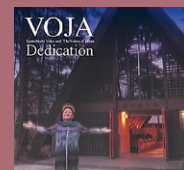
Greatest Hits : Georgia Mass
Choir (Savoy Gospel)
牧師の説教とクワイアによる押し寄せる
迫力と感動！王道ゴスペル・クワイア。



日本のゴスペル

1993年、ゴスペルを主とするコーラスグループ「亀淵友香 & VOJA (The Voices of Japan)」が結成されます。そのリーダーである亀淵友香さん(1944～2017)とゴスペルとの出会いは、小学校の時に観た映画『真夏の夜のジャズ』のマヘリア・ジャクソン。彼女の歌声に圧倒され、意味も分らず涙を流したそうです。亀淵さんはライブ活動と同時に、アマチュア・クワイアの育成にも尽力。世田谷区の「Let's Sing ゴスペル! コンサート with ワークショップクワイア」では初年度から監修者として参加をしました。現在、日本のゴスペル人口は数万人と言われ、多くの人に愛されています。かつて亀淵さんは「誰にだって辛いことはあります。そんな時本当に助けになるのは自分の力。ゴスペルは自分の力を呼び起こす音楽なんです」と語っています。

日本ゴスペル界のゴッド・マザー
亀淵友香



デディケーション：亀淵友香 & The Voices
of Japan (ビクターエンタテインメント)
日本のゴスペルを牽引するVOJAの代表作。
Jゴスペルの底力。

あなたも体験してみよう！ せたがやゴスペル・コンサート

27th キネコ国際映画祭
野外ライブステージ

2019年11月4日(月・休) 15:00～15:40(予定)
二子玉川公園 眺望広場 ※雨天時は二子玉川小学校体育館

出演:GOSMAC スペシャルクワイア 料金:無料
世田谷区を中心にゴスペルを楽しんでいるメンバーと、
指導ディレクター (のはらヒロコ、岩崎ひろき、塚本崇瀬、
蔵本順) によるエネルギーあふライブをお届けします。

Let's Sing ゴスペル! 2019コンサート with ワークショップクワイア
2019年11月30日(土) 15:00開演 世田谷区民会館



5年目を迎えるゴスペルワークショップ、「Let's Sing ゴスペル!」。4クラスあるワークショップで、初心者・経験者を問わず幅広い世代のメンバーと一緒に、ゴスペルならではのハーモニーの美しさと楽しさを体感。歌うことの喜びや仲間との一体感をステージで思いっきり表現します。日本を代表するゴスペルアーティストの迫力のステージもお楽しみください!
*詳しくはP8の公演情報をご覧ください。

